

DOJIN  
R18  
成人向け  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止

ネットで知り合った

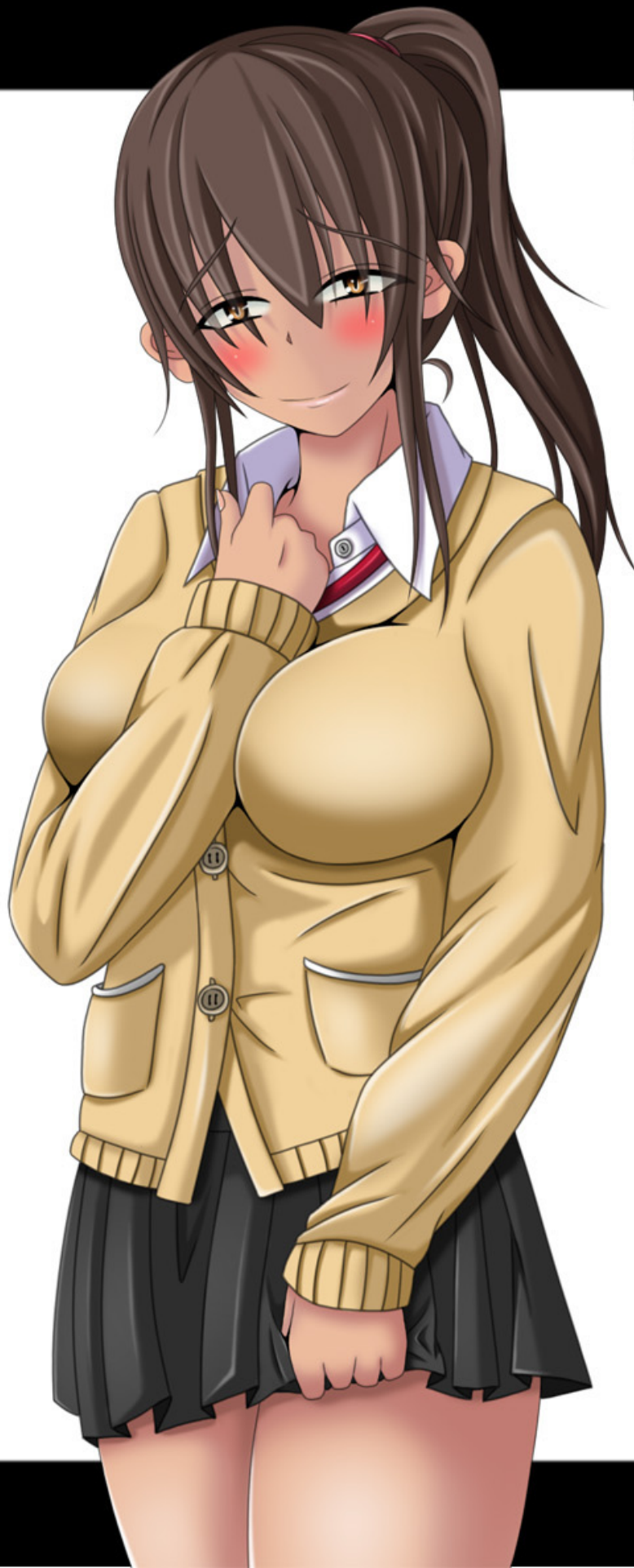
JK 2人組みと

なんか3Pする(´ε｀)に

なっただが……

エッチなことに興味深々なピチピチJKを  
2人まとめて美味しく頂いちゃおう!

基本CG 16枚 差分 294枚 総枚数 586枚



# 【今作のヒロイン その1】

## 実はムッツリちゃんなJK

- 私立の学校に通っている女学生  
名前は友坂 樹 (ともさか いつき)
- 一応処女 (男性経験は無いが、処女膜は  
オナニー中に色々夢中になった結果喪失)  
文武両道な優等生だが、かなりのムッツリスケベちゃん  
オナニーは、ほぼ毎日しちゃうくらい大好き
- 陸上部に所属しており、ハードルの選手  
まあまあ優秀な選手で、大会でちょこちょこ入賞したいする
- 性格は穏やかで真面目、でもムッツリスケベちゃん  
少しススっ気があるかもしれない……そして結構S
- 幼馴染の恵理に泣きつかれ、仕方なく一緒に処女を  
卒業すべく奔走するが、内心では結構ハハハだったらしい

# 【今作のヒロイン その2】

## 実は結構甘えん坊なJK

- 私立の学校に通っている女学生  
名前は双葉 恵理 (ふたば えり)
- 処女 (オナニーは時々する程度)  
エッチなことに関しては年相応程度に興味がある模様
- 樹とは幼稚園からの幼馴染で腐れ縁 (本人談)
- 部活には属していない、帰宅部
- 性格は少し捻くれた感じ、現実主義者  
自分ではシカルしているつもりだが、実際はチョコカワ系  
信頼した相手には結構依存しがち……そしてかないM
- 仲のいい友人のほとんどが初体験を済ませたことを知り、  
自分も早く大人の仲間入りをしたいと焦るが、自分一人で  
男を誘惑するのは怖いので、幼馴染の樹に泣きついた



# あらすじ

家と会社を往復するだけの日々を送っていた私（貴方）

そんな退屈な日々嫌気が差し、ちよつとした刺激を求め、とある出会い系掲示板に書き込みをすることにした

だが世の中そう甘くはなく、届くメッセージは

どれも女のフリをするサクラからの定型文ばかりであった

いい加減うんざりしていると、新しく一通のメッセージが届いた

「貴方はいい大人ですか？　少しお話しませんか？」

胡散臭いサクラのメッセージとは違う何かを感じた私（貴方）は、このメッセージをくれた子としばらくやり取りをすることにした

すぐに会うのは怖いと言うので、緊張と警戒心を和らげるため、紳士的に振舞いながら、共通の話題を探しだし、時間をかけ少しずつ、確実に彼女との信頼を築いていき、知り合ってから一ヶ月、遂に会う約束をすることができた

そして今日、待ち合わせ場所で待っていた私（貴方）の前に、約束の時間ピッタリに現れたのは、二人の女子校生だった

ねえねえ樹、この人が約束の相手なの？

うん...まあ、ギリ妥協ラインかなあ

ちよつと、だめだよ恵理ちゃん！初対面で失礼だよっ！

えゝ素直な感想を述べただけだよ？

だめなものはだめ！まだ自己紹介もしてないじゃないっ！

ドウイコトナノ？  
( ;´-ω´)

はいはい、樹は本当に昔からいい子ちゃんなんだから



えっと、初めまして……と言っているのかな？

私がお兄さんとメッセージのやりとりをしていた

友坂 樹（ともさかいつき）と言います

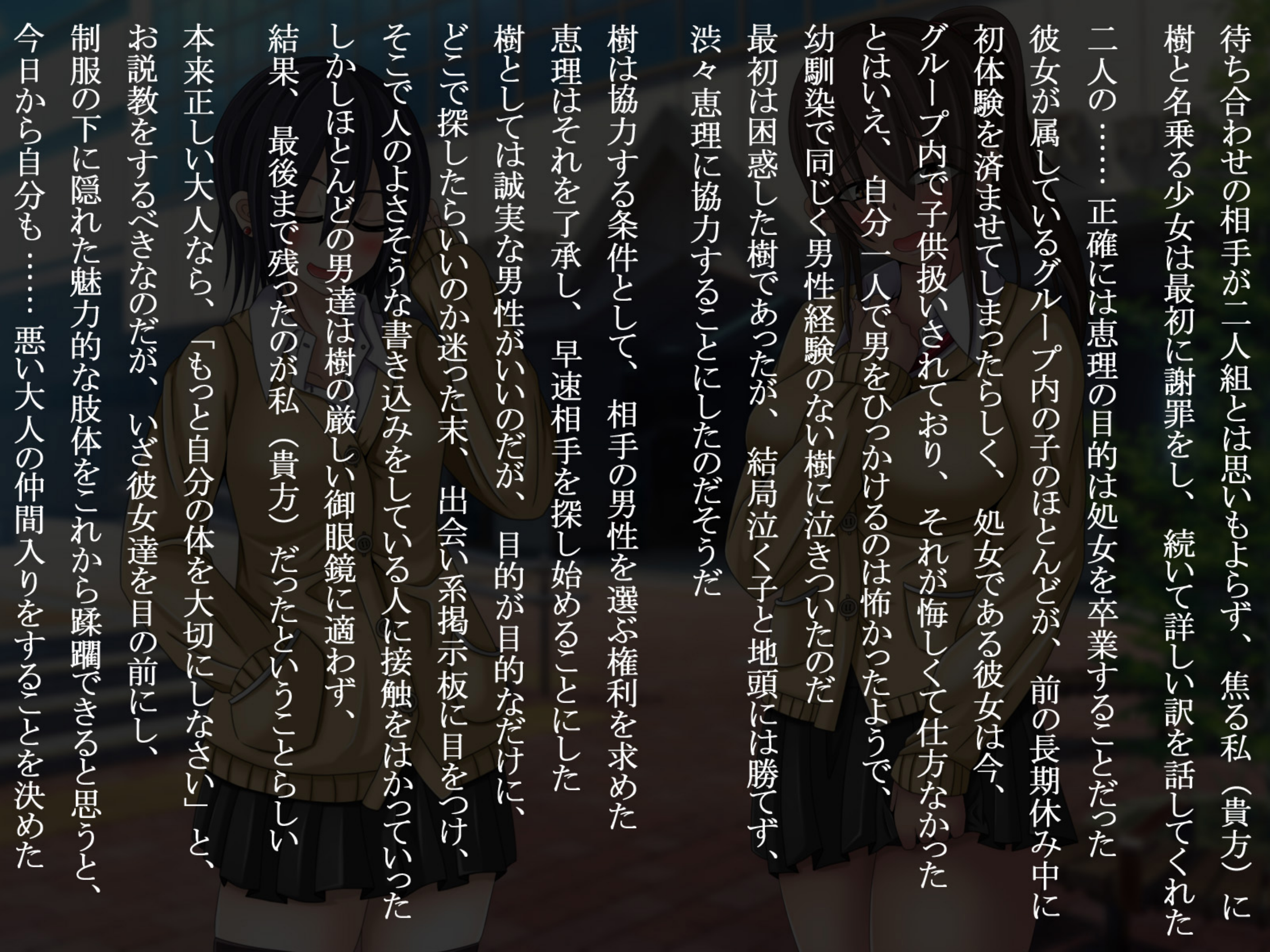
それで、こっちの子が……

私の名前は双葉 恵理（ふたば えり）

樹とは幼稚園からの幼馴染の腐れ縁です

とりあえず、よろしくね……おじさん♪

オジッ!!  
Σ(´Д`;)



待ち合わせの相手が二人組とは思ってもよらず、焦る私（貴方）に樹と名乗る少女は最初に謝罪をし、続いて詳しい訳を話してくれた二人の……正確には恵理の目的は処女を卒業することだった彼女が属しているグループ内の子のほとんどが、前の長期休み中に初体験を済ませてしまったらしく、処女である彼女は今、グループ内で子供扱いされており、それが悔しくて仕方なかったとはいえ、自分一人で男をひっかけるのは怖かったようで、幼馴染で同じく男性経験のない樹に泣きついたのだ最初は困惑した樹であったが、結局泣く子と地頭には勝てず、渋々恵理に協力することにしたのだそうだ

樹は協力する条件として、相手の男性を選ぶ権利を求めた恵理はそれを了承し、早速相手を探し始めることにした樹としては誠実な男性がいいのだが、目的が目的なだけに、どこで探したらいいのか迷った末、出会い系掲示板に目をつけ、そこで人のよさそうな書き込みをしている人に接触をはかっていったしかしほとんどの男達は樹の厳しい御眼鏡に合わず、結果、最後まで残ったのが私（貴方）だったということらしい本来正しい大人なら、「もつと自分の体を大切にしなさい」と、お説教をするべきなのだが、いざ彼女達を目の前にし、制服の下に隠れた魅力的な肢体をこれから蹂躪できると思うと、今日から自分も……悪い大人の仲間入りをすることを決めた

もしもし、おじさん、話聞いてる？

惠理ちゃん、だからおじさんなんて呼んじゃだめだよ！  
せっかく来てくれたお兄さんに失礼でしょ？

え〜？ だって私らよりずっと年上だよ？

たしかにウチの担任のおっさんよりは若いだろうけどさ〜

ん〜、それにしてもさあ、樹い？

え？ なあに、惠理ちゃん？

オジサン……  
シヨボーン

(; - ω -)



やけにおじさんの肩もつよね〜？

樹って「うういう人がタイプだったんだ〜、へえ〜♪

ちよ、ちよつと、恵理ちゃん！いきなり何言っのっ！



お兄さんに変な誤解されちゃうってばっ！  
いいからいいから〜、照れない照れない〜



やったねおじさん、樹のほうはもう、準備OKだってさー！  
もうっ！いい加減にしないと本当に怒るよっ！

まあまあ、そう興奮しないで〜

樹だって、このおじさんならいいかな〜って思ったから、  
今日、会う約束をしたんでしょ？

それは……まあ、その……そう、だけど……

でしょ？ならそんな怒る必要ないって

ううん？そう……なのかなあ？



それで、おじさん的にはどうなのさ？

私達二人を大人の女にしてってくれる気はあるの？

えっ、恵理ちゃん！ もう少し言い方考えてよおっ

協力してくれるの？ 本当？ やった♡

まあ、私達二人をいつべんに相手にできるんだから、おじさん的には断る理由なんてないよねっ

よし、それじゃあ、さっそくホテルに行こっ！

ちよっ、ちよっど恵理ちゃん！ 声、声大きいっ！

見てる、皆こっち見てるからっ！

キョウリヨクシマスッ!!

( - ω - )

うわあ、 ネットでは見たことあるけど、  
本物は迫力がちがうねえ  
あ、今ピクツて動いたっ！

わあっ

ピクッ

ピクッ

んっ

すっすっ、 こんな……はあっ

こ、これ、 もう完全に……その、

ぽっ、 勃起しっちやってる状態なんですか？

そ、 そうなんですか……んっ

おじさん、「これ触ってみても平気？  
本当？ やったっ！ え？ なあに？  
うん、わかった、優しくだね、まかせて♪

フクッ  
フクッ

ハクッ  
ハクッ

惠理ちゃん、さ、触るの？

気をつけてね、デリケートな部分らしいから  
慎重に……優しくだよ？

うわっ、熱っ……ああっ、すじっ  
グニグニしてるのに、硬い……変な感じ  
こ、これが勃起したおんおんの感触なんだあ

はあっ

ニギッ

ゼクッ

ニギッ

お兄さん、大丈夫ですか？ 痛くはないですか？  
今体がビクツて震えたようでしたから  
触られて気持ちよかった？ そう、ですか……

ほら、樹もさわってみなよ？

大丈夫だって、なんか癖になる感触で、面白いよ

ほら、ほらほら〜♪

ええ？くっ、癖になる感触なの？

う、うん……それじゃあ、私も……

えっと、失礼して、触りますね、お兄さん

サフッ

ククッ

サフッ

わあっ、本当に熱い……柔らかいのに、硬い？  
なんだか不思議な感じ……

ね？ だから言ったでしよ？ 癖になる感触だって

ふふふ

ニギニギ

サクサク

わあっ

あっ、今ビクッて動いたっ！

本当だっ！ 変なの、別の生き物みたい  
え？ なあに？ 優しく撫でればいいの？



だ、大丈夫ですか？ 痛くないですか？

樹ったら、心配すぎだよ

おじさんのあの顔見ればわかるでしょ？

んっ

スツツ  
スツツ

ビクビク

サト  
サト  
サト

はあっ

ん……気持ちよさそうな顔してる……かな

可愛い女の子二人に

こんなことさせてるんだよ？

気持ちよくないわけないよね、クスクスツ

ええ〜？ お〇ん〇ん舐めて欲しいの？

それって「ん」ってことじゃなく「ん」と「ん」じゃあ？

……舐める……お兄さんの、「これを？」

えーっ

キキッ  
キキッ

流石にちよつと無理でしょう

私達真正銘の処女なわけだし〜、ねえ樹？

お兄さんは……舐めて欲しいんですよね？

わ、私……お〇ん〇ん、舐めてみようかな  
ええっ！い、樹、無理にそんなことしなくても……  
おじさんも、冗談半分で言ったんだろっしさっ

大丈夫だよ恵理ちゃん、ちよっと舐めるだけ  
無理だと思ったら、すぐやめるから……ね  
う、うん……樹がそこまで言っなら……

ん、れろっ……れろれろっ

はあっ、ちゅっ……ぺろっ

樹……だ、大丈夫？ 変な味とかしない？

はあっ

ピキッ  
ピキッ

ポロッ

ピキッ

ピキッ

ポロッ

はっ

んっ

んちゅ……んあっ、だ、大丈夫だよ

少ししよっぱいけど……んっ、いやじゃないかな

へへへ、そう、なんだ……

はむっ、んちゅっ、れるれるっ、はあっ  
んっ、んっ……ペロペロペロッ

(うわあ……樹、凄く熱心に舐めてる)

はあっ

ハッ  
ハッ

グッ  
グッ

れっ  
れっ

んっ

んあっ、尿道？「こ」がいいんですか？

ちゅっ……わかりました、れるれるっ

(なんだか樹の顔、凄くエッチに見えてきた)

ね、ねえ樹？ そ、そろそろやめたほうが

ほら、おじさんも、もうイキそうだったって言うてるし……

んちゅっ、本当？ お兄さん、イキそうなんですか？

ビクッ  
ビクッ

はっ  
ん

レッ  
レッ

はあっ♡ イっていいですよ、お兄さんの射精してるのじ、

ちゅっ、れるれるっ、私、んっ、見たいですっ♡

ちよ、ちよっつと、樹、あんた何言って……あっ！

んああっ♡ あはっ、 凄いつ♡

きやっ……えっ、 精液出て……ああっ！

ああっ

ジュルルジュ

ジュジュ

あはっ♡

んっ♡

はあっ、 すっおっ、 まだ出てくる、 んああっ♡

ちよっ、 樹っ！ 顔、 顔っ！

そのままじゃ全部顔にかかっちゃうよっ！

ちよつと、おじさんっ！何考えてるのよっ！

樹の顔、精液でベタベタじゃないっ！

はあっ、んっ♡これが、お兄さんの……精液っ♡

もっっ

キロキッ

ビクッ  
ビクッ  
ビクッ

セッ  
ッ

はあっ  
はあっ

ほら樹、顔洗いに行くっ？

ああもっ、シャワーのほっがいいのかなあ？

恵理ちゃん、私なら平気……ありがと

でも、本当に大丈夫だから……気にしないで



いっ、樹っ！ あんたなんでまた舐めてるのっ！

んちゅっ、だって、次は、私達がしてもらっつ番でしょう？  
だから、れろっ、その前に、お掃除しておかないとっ♡

びゅ  
びゅ  
びゅ

ぽっ  
ぽっ  
ぽっ

はっ  
はっ  
はっ

私達の番って……んっっっ

元々今日は、そのつもりだったわけだし……

お兄さん……最初に、私からお願ひできますか？

んっ、大丈夫です……その、凄く濡れちゃってますから

お兄さんのお〇ん〇ん舐めてたら、こんなになっちゃって……えへっ♡

はぁっ♡

んっ♡

ギキッ♡  
ギキッ♡

トロキッ♡

ビク♡  
ビク♡

(本当だ……樹のあそび、もう真っ赤になって、

トロトロになっちゃってる……樹、そんなに興奮してたんだ)

んうっ、そうですね……やっぱり、少し緊張しちゃいますっ  
でも……お兄さんが相手ならいいかなって、  
メッセージのやり取りしてる時からずっと考えてたんですよ、  
はい……どっぞきてください♡

ブルブルッ

むっ  
びっ

ピトッ

ピクッ

（樹、そんなこと考えていたんだ……）

「このおじさんのこと、本気で好き……なのかなあ？」

いあつ……んくつ、ううううう

樹っ！大丈夫？痛いなら、無理しなくてもっ

くっく

ん

ビクビク

ズブ

ヒクヒク

だ、大丈夫っ、大丈夫だよ、恵理ちゃん……くうんっ  
お兄さんも、そのまま、はあ……最後まで、入れてください

ふうん……んっ、ううううっ……はあ、ぜ、全部、入りました？  
ほ、本当ですか？ はあんっ♡ はい、だ、大丈夫、です……んくっ  
ふふ……私、お兄さんに、大人の女にさせられちゃったんですね！

ブルンッ

グキョク

グググ

(凄いつ、本当に樹の膣内に、お〇ん〇ん入っちゃったんだ……  
ってあれ？ 樹、血が出てない？ 普通出るんじゃないの？)

あの、お兄さん……えっと、私、あそこから血、出てます？  
ああ、やっぱり出てませんか……えっと、私ほら、陸上部で、  
ハードルの選手だから……その、そのせいで……あうっ  
いっ、いえ、本当は、前に自分で……つい力が入っちゃったみたいで、あはは

(まさか、オナニー中に誤って喪失しちゃうなんて……  
樹って、意外とムッツリスケベだったのね、知らなかった)



で、でも、男の人を受け入れたのは、お兄さんが初めてなのは間違いないですっ！  
正真正銘の処女というわけではないですけど、私は、私の中の初めてが、  
お兄さんでよかったという気持ちに変わりは……んっ、本当、ですか？  
……はい、お兄さんにそう言ってもらえて……私、嬉しいです♡

（聞いている二つちが恥ずかしくなるようなセリフをよくもまあ……  
というか……二人とも、私のこと、完全に忘れてるわね）

コホンッ！ 樹、それで痛みのほうは大丈夫なの？

えっ！ あ、恵理ちゃん……う、うんっ！ だ、大丈夫……かな  
少し圧迫感はあるけど、んっ、痛みはそれほど感じないよ、あはは

（いけない、恵理ちゃんいたの、忘れちゃってた……）

（今の反応、樹のやつ、私の存在、完全に忘れてたな……）





んあああつ、あうっ……い、いえ、大丈夫です、少しビツクリしちゃって

はいっ、これくらいなら、んあう、はぶうっ、平気です、んっ

はあっ

んうっ

ビツ  
ビツ

ズッ

ジツ  
ジツ

(いよいよ本格的にエッチ開始しちゃうんだ……)  
樹、少し辛そうだけど、大丈夫かなあ?)



あっ、  
ああ、  
やっ、  
抜けちゃう……んあああ、  
あっ、  
はあんっ  
うっ、  
あっ、  
んあああ、  
くうんっ……あああ、  
あっ、

もっ、  
んっ

んっ、  
うっ

ブル  
ブル

ド  
ン

ジ  
ン

くふっ、んあっ、あっ、あうっ……なんだか、ゾクゾクって、

はうっ、んくっ、ああ、あうあうああ、んくうんん

お兄さんっ、お兄さんっ、あうああ、はあんっ♡

んうっ♡

んっ

ゴッ  
ゴッ

ググッ

ググッ



くぅぅんっ♡ あうっ、 あうっああ、 そこ、 そこだめですうっ♡  
あうっああ、 やあ、 すじっ、 ンああう、 きっ、 気持ちいいっ、 いらっ♡  
はあんっ、 あうっああ、 あうっ、 ンあああうっ♡

あかんっ♡

はっはっ♡

ビクッ  
ビクッ♡

ズッ  
ズッ

（樹の感じ方が変わったっ！ さっきまでと違って、  
気持ちいいのを必死に堪えている風に見える……）



んあっ、 はああんっ、 んっんっんっ、 あっっっ♡

はあっ、 いっ♡ 気持ちいいですっっ、 はっっ、 んあああっ♡

あっああっ、 くうんっ、 あっっっ♡♡

ブルブル♡

んあっ♡

あっっ♡

ググッ

ググッ



はあ〜っ、はあ〜っ……んくっ、は、はい……大丈夫、ですっ  
はい……もう、だいたい慣れてきたので……その、強めにしてもらっても、  
んっ、だ、大丈夫だと……思います、はあんっ♡

はーっ♡

はーっ♡

ドキッ♡  
ドキッ♡

ヒクッ♡  
ヒクッ♡

ゲッ



はあ〜っ、はあ〜っ……んくっ、は、はい……大丈夫、ですっ  
はい……もう、だいぶ慣れてきたので……その、強めにしてもらっても、  
んっ、だ、大丈夫だと……思います、はあんっ♡

はーっ♡

はーっ♡

トキーン♡  
トキーン♡

ヒクッ♡  
ヒクッ♡

……本編へ続く